

疾患管理プログラムとしての 心不全リハビリテーション

Cardiac rehabilitation for heart failure as disease management program

心不全パンデミックともいわれ、高齢心不全症例が増加している今日、心不全リハビリテーションは、心不全の疾患管理プログラムとして重要な役割を果たすようになりつつあります。一方で、心不全に対するリハビリテーションという概念は、地域においてまだ普及が不十分なところもあります。

本特集では、高齢社会における心不全管理の重要性、リハビリテーションの意義、そして地域社会での包括管理プログラムの実践について解説いただきました。

心不全の増加と社会に与える影響 百村伸一氏…………… 517

世界的な心不全の増加は心不全パンデミックと表現され、長寿社会日本の心不全患者は、2035年には130万人に達するとの推計もある。また heart failure with preserved ejection fraction (HFpEF) の増加、虚血性心疾患の増加、併存症の増加も指摘されている。入院期間は短縮しているが、それに対応するためのシームレスな医療連携の構築も必要である。日本循環器学会の「脳卒中と循環器病克服5カ年計画」、厚生労働省での「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方に関する検討会」などの動きを踏まえ、2018年12月に脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法が成立した。今後、心臓リハビリテーションを中心とする包括的疾病管理プログラムの果たす役割は大きい。

心不全リハビリテーション標準プログラム 井澤英夫氏ら…………… 525

2017年7月に心臓リハビリテーション学会は「心不全のための心臓リハビリテーション標準プログラム（2017年版）」を発表した。急性期には急性期治療と並行して離床プログラム、病態安定化ののち運動療法を導入し、定期的評価と修正を行いつつ、外来での回復期、そして維持期と進める。あわせて、多職種チームアプローチにより、急性増悪因子の管理を行う。この標準プログラムでは、重症症例や高齢フレイル症例に対する記載もあり、再入院予防、長期生命予後の改善、身体機能低下予防に活用されたい。

心不全と骨格筋 沖田孝一氏…………… 531

心不全における運動耐容能規定因子としての骨格筋障害は、筋萎縮、筋線維型の変化（I型の比率減少、IIa型からIIb型へのシフト）、筋代謝酵素の変化（好気性代謝にかかわる酵素の減少）、骨格筋エネルギー代謝の障害（特に下肢筋でクレアチニンリン酸やpHが低下しやすい）などが報告されている。その要因は循環不全のみならず多面的な機序が考えられている。運動療法は必須であり、単一因子の改善のみでない効果を示す。そのほか、薬物療法が各種検討されている。

地域ぐるみの心不全管理 北川知郎氏ら …… 539

広島県では、心不全患者の生活の質の改善と増悪予防を目指す事業として、広島県心臓いきいき推進事業に取り組んでいる。広島大学心不全センターを事業事務局として、広島県各圏域の7施設の心臓いきいきセンターで心不全管理専門チームを構築している。本事業では、NYHA分類Ⅰ～Ⅱの定期的な通院が容易な患者層、Ⅲのハイリスク患者層、Ⅳの患者層それぞれにアプローチ法を立案している。在宅支援体制構築事業として、施設認定講習会を開催して「心臓いきいき在宅支援施設」を認定し、連携パス手帳を作成して活用している。「治す」ことを主眼とする病院完結型診療から、「悪くさせない」ことを目指す地域完結型診療への転換を図っている。

心不全リハビリテーションのコストとベネフィット 田倉智之氏 …… 547

わが国の全体医療費の19.9%が循環器系の疾患の費用であり、心不全リハビリテーションにおいても、医療経済学的な付加価値の最大化を志向することが望まれている。心臓リハビリテーションの費用対効果については多くのランダム化比較試験があり、質調整生存年（quality adjusted life years; QALY）を計算すると一般診療に比し費用対効果に優れていることが知られている。心不全リハビリテーション対象者は高齢者が多く、老年症候群を有する症例が多いことから、費用対効果の研究においては、介護などの社会費用も含めた検討や患者視点でのアウトカムの導入が望まれる。

書評	作業で創るエビデンス—作業療法士のための研究法の学びかた（評者：藤本修平） …… 556
	こころの回復を支える—精神障害リハビリテーション（評者：武田雅俊） …… 603
お知らせ	第26回日本赤十字リハビリテーション協会研修会 …… 523
	リハビリテーション科医のためのマネジメント研修会 …… 555
	第19回兵庫医科大学呼吸リハビリテーションセミナー …… 589